

3 校合同 SEL 研修会アンケート

本日の講話について、感想をお聞かせください。

- ・多重知能理論について知ることが出来た。
- ・日頃から子どもたちは何が得意で苦手なのか特性を観察することが大切と知った。
- ・8つの知能のうち、普段あまり使っていない能力は使っている能力を介して育ったり、発揮したりする事につながることで、自分の強みを知ること、勇気を持った生き方ができるということが心に残った。
- ・8領域の知能の話がわかりやすく、自分自身や子どもたちを見る視点としてぜひ活用したい。
- ・その子の個性に合わせて声をかけることで、強みを伸ばせるということが印象に残った。
- ・多重知能理論は初めて聞いたが、今までの見方と違う良さがあると思った。
- ・これまではどうしても子どもの課題(欠点)ばかり目についていたが子どもの強みに目を向けて、認め伸ばす、それがその子全体(他の知能)を高めることにつながるという新しい見方ができそう。
- ・自己有用感が持てる関わりが大切だと改めて感じた。
- ・得意なところを起点に様々な知性が育っていくということが具体的な例とともに理解できた。
- ・日々の学習指導の中でどう強みを見つけてあげられるか難しいと感じた。
- ・出来ていないところを見てしまいがちだが、気づいてスイッチが入ることにつながる言葉かけを根気よく続けていけるようにしたい。
- ・多重知能理論について、具体的な子どもの姿も交えながら話していただき、研修内容と普段接している児童の姿が結びつく感覚があった。
- ・トータル的に八角形を形成することは、誰もが難しくそれでいいと安心した。
- ・昔よく言われた「虫博士」など、子どもが優れているところをうまく活用することが、とても大切だと実感した。昔の考え方の良さが今も活かせると思った。
- ・自分が素敵だとおもえるようなチャンスを多くして、日々の学校生活にあたりたい。

- ・個々の強みを個々に合わせて伸ばすことを集団生活の中学校で積極的にやっていくのは、現状ではなかなか難しいなと思った。
- ・個性のばしや知能同士が相互に高まることは今の学習指導要領では、少し取り組みにくいのかもしいないと思った。学校以外の場で自分の知能を高める機会や場があればいいのかもしれない。
- ・音楽の授業を担当しており、授業を通して技術的なことよりも今回の話にも出てきた自己有用感や自己肯定感を向上させることを目指して授業している。苦手だけど投げ出さないで取り組めた、苦手だけど周りの友達がフォローしてくれて嬉しかった。下手だと思っていたけど、先生や友達に「〇〇っていいね」とほめてくれてうれしくて、また次も頑張ってみようと思った、などの場面は今回の8領域の中のあちこちが子どもたちの中でグーンと伸びていく瞬間なのかなと感じた。
- ・難しい話でよく分からなかった。
- ・生徒理解が大切だと思った。
- ・その子なりに得意なポイントからしぼり、アクセスしていった方が良かったと思った。